



川にすむ生き物で水質調査をしよう

川にすんでいる生き物の種類や数で、その川の水質（水の汚れぐあい）が分かります。川にすむ生き物を調べて、川の水質をしらべてみよう！

用意するもの 記録用紙、1～2mmの目のあみ、ピンセット、はけ、筆、バット（発ぼうトレイなど白いものが良い）、ルーペ（虫めがね）、図鑑、筆記用具、ぬれてもよい靴、カメラ

すすめ方

- ① 3～5名のグループをつくり、川の調べるポイントを決めます。
- ② ポイントの下流がわに生き物を受けるためのあみを置き、川の中にある石を持ちあげたり川底を足でかき混ぜたりして、流れてきた生き物をつかまえます。
- ③ つかまえた生き物を、はけや筆、ピンセットなどを使ってつぶさないようにバットに入れて観察し、記録用紙の「生き物の数」に記録します。
また、川のまわりで見た生き物（鳥、魚、カエルなど）も、記録しておきます。
- ④ つかまえた生き物は、観察が終わったら川にもどします。
また、動かした石なども、元にもどしておこう。
- ⑤ 次のページの「水の汚れと生き物の関係」を見て、水の汚れぐあいを調べます。
調べた川の水質と、川のまわりとの関係を考えてみよう。

注意点・工夫

- 水質調査には、必ず大人（先生やお家の人など）といっしょに行き、大人の指示を守って川に入ろう。
- ひとりだけでの行動は非常に危険なので、必ずグループで行動しよう。
- 川の流れは思った以上に速く、日によって状況が変わるため、流れの速さを確認してから川に入ろう。
- 川に入るときは、ひざの深さまでとし、これより深いところに入ってははいけません。
- はだして川に入ると危険なので、ぬれてもよい靴をはこう。
- 川の上流や下流など、いろいろな場所で調べたり、調べる季節を変えたりして、比べてみよう。

紹介

- 国立環境研究所の全国水生生物調査のホームページでは、調査方法や生物図鑑などの詳しい解説がのっています。 <http://mizu.nies.go.jp/susei/>
- 国土交通省京浜河川事務所の「Keihin Kids（ケイヒンキッズ）」では、小学生向けのわかりやすい解説がのっています。 <http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/kids/>

水の汚れと生き物の関係

きれいな水にすむ生き物		少しきたない水にすむ生き物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドROMシ	ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	イシマキガイ
	ウズムシ		カワニナ
きたない水にすむ生き物		大変きたない水にすむ生き物	
ミズカマキリ	ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
イソコツブムシ			

※北海道にいない生き物や、汽水域（海水の少し混ざっているところ）にすむ生き物も入っています。

記録用紙

なまえ

調べた場所			日時		
水質	生き物	生き物の数	水質	生き物	生き物の数
きれいな水	アミカ		きたない水	イソコツブムシ	
	ウズムシ			タイコウチ	
	カワゲラ			タニシ	
	サワガニ			ニホンドロソコエビ	
	ナガレトビケラ			ヒル	
	ヒラタカゲロウ			ミズカマキリ	
	ブユ			ミズムシ	
	ヘビトンボ				こうけい 合計
	ヤマトビケラ				
	こうけい 合計		大変きたない水	アメリカザリガニ	
イシマキガイ		エラミミズ			
オオシマトビケラ		サカマキガイ			
カワニナ		セスジユスリカ			
ゲンジボタル		チョウバエ			
コオニヤンマ				こうけい 合計	
コガタシマトビケラ		生き物の数が一番多かった水質			
スジエビ		気がついたこと			
ヒラタドROMシ					
ヤマトシジミ					
	こうけい 合計				